

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：ピラあさやま

サービス種類： グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 (該当に■)

日 時： 令和5年3月9日(木)

場 所： ピラあさやま

出席者： 7人(事業所職員より各委員、大田市職員へ内容報告し意見を聴取しました)

利用者代表	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人		
事業所職員(職名：管理者 生活相談員)			3人

報告事項：

1. 活動状況報告

1) ご利用者の状況

①登録者 26名

②要介護度 平均 2.2

③男女比率 男2 : 女8

④年齢 平均 86.19才

⑤地域別利用

久手・朝山・富山・波根・川合・久利・鳥井・大田

1) 活動内容

月別	行 事	月別	行 事
10	屋外訓練(紅葉) 波根保育園交流会 運動会 火災避難消火訓練 屋外食 認知機能評価	10	屋外訓練(キララ) ◎10/28 運動会◎10/19.10/20 認知機能評価◎10/10~10/15 あけぼの子ども園交流会◎中止
11	文化祭出展・参加(朝山、富山) 屋外訓練 感染症予防教室 絵手紙	11	文化祭出展・参加(朝山)◎11/5 (富山)◎11/16.11/18

	教室		屋外訓練(ピクニック手引きが丘) ◎11/24 絵手紙教室◎11/30
12	クリスマス会 そば道場 忘年会 フラワーアレンジメント(門松作り) 波根保育園交流会 餅つき	12	感染予防教室◎12/6.12/7 クリスマス会◎12/23 そば道場◎12/22 忘年会◎12/13、14 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/20 しめ縄教室◎12/10 餅つき◎12/26 あけぼの子ども園交流会◎中止 屋外訓練(三瓶)◎12/16
1	初詣、新年会 お茶会	1	初詣◎1/11 新年会◎1/5 お茶会◎1/27
2	節分 食育教室	2	節分◎2/2 巻きずし作り◎2/2
3	ひなまつり会 屋外訓練	3	火災避難消火訓練◎3/2 ひなまつり会◎3/3
その他	回想法、学習、音楽、園芸療法アロマセラピー 喫茶、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア		

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、例年は外部のボランティアとの交流を行っていた行事も職員代行する等して、可能な限り行事を計画通りに実施した。新型コロナウイルスが落ち着いている時期は少人数のボランティアとの交流は実施した。(こども園との交流行事は蔓延していた時期でもあり中止し、プレゼント交換のみ実施した。)
- ・事業所外での活動参加については、今年度初めて多伎の伝習館で開催された、しめ縄教室に参加し、皆さんに喜んで頂いた。屋外訓練に関しては、人流の多い場所を避け、季節の景色や空気を楽しんで頂く活動を中心に行った。
- ・非薬物療法への継続的な取り組みを行い、年2回は現在の症状把握の為、認知機能検査を実施している。また、今年度より軽運動室をリハビリルームとして活用し、活動的に身体を動かせる機会を設けた。
- ・ホームページや通信を通じてなるべく分かり易く・広く認知して頂けるPRを継続して取り組んでいます。
- ・火災時を想定した通報・避難訓練を実施。

2. 新型コロナウイルスについて

- ・別紙参照

下半期の新型コロナウイルス感染状況についての報告。

3. 満足度調査について

- ・別紙参照

令和4年12月12日～12月24日にかけて、ご利用者、ご家族に満足度調査を実施。

介護する上で介護者の健康問題、将来への不安、介護ストレス等の意見が多く聞かれた。

また、回答欄良いではなく普通と回答があった項目も多くあり、改善をし良いと回答して頂けるようにして行く。

3) 感想・意見・要望

(運営推進会議委員)

- ・コロナ禍においても、工夫して行事に取り組まれていると感じた。
- ・少しずつ団塊の世代が利用されているとのことだが、今後利用者数の増加が見込めるのか？
→極端に団塊の世代の利用者が増加する見通しはないが、少しずつ70歳代の利用者も増加し、また80歳代、90歳代の利用者とは考え方が違い、権利意識も強く、サービスへの求めるものも違ってくると思われる。
- ・リハビリルームの取り組みは大変良いことだと思うが、市内他にもリハビリルームのような施設を備えたデイサービスがあるのか？
→リハビリ機器を揃えた施設はあるが、ピラアさやまのように広い空間を使ったリハビリルームがある施設は市内にはない。その為、リハビリルームを有効に使用できるように検討会を開催している。
- ・アンケート結果を踏まえて、認知症の方を孤立して介護をしていると不安が増す。交流会等があると気持ちが楽になると思われる。新型コロナウイルスも落ち着いたら、開催されても良いかと思う。
→来年度は家族交流会や介護教室を開催予定。アンケート内容をもとに、内容等については検討して行く。
- ・大田市立病院にて認知症の方を対象にオレンジカフェが毎月開催されている。コロナ禍において参加者も減少しているようなので、利用されても良いのでは。

(市役所職員)

- ・非薬物療法等を実施するなかで、ご利用者の心理的な変化等が見られましたか？
→利用当初は帰宅願望が強く、椅子に座って何かに取り組むことが難しい利用者がおられた。気持ちを傾聴に寄り添うことを中心にケアを実施した所、約3カ月経過した現在は憩い居室で他の利用者と雑談等を行い、以前ほど帰宅願望が強くは無くなったケースもある。今後も個別ケアを重視した支援を行って行く。
- ・認知症利用者の家族状況はどのような方が多いのか？
→独居の方も1人おられるが、毎日家族が通い支援をされている。認知症対応型通所介護の利用

者の方は家族世帯が多い。

- ・大田市全域で見ると認知症の一人暮らしが増加している。温かく見守る地域作りが必要である。また、子供の頃から認知症への理解を深めて行く必要がある。認知症への理解者が一人でも多くなってくればと思っている。
- 朝山町では週1回月曜日に朝市を開催している。利用される方は概ね固定されているが、一人暮らしの高齢者が多くなっている。7~8人位の方が集まり、交流する場にもなっているので良い機会だと思う。